

2025 年 1 月 7 日

【新年のごあいさつ】

日本電気泳動学会会員の皆様

新年、明けましておめでとうございます。
本年も皆様のご健勝と研究のご発展を心よりお祈り申し上げます。



さて昨年の本学会は、九州大学大学院の川井隆之先生を世話人として第 74 回日本電気泳動学会シンポジウム「次世代オミックス研究を切り拓く最先端質量分析技術」を WEB 開催し、また 12 月には北里大学の長塩亮先生を大会長として第 75 回学術大会「電気泳動技術の多様化と異分野融合への挑戦」を北里大学相模原キャンパスにて開催いたしました。いずれも盛況でしたが特に学術大会は 6 年ぶりの首都圏開催であり、基礎科学から臨床医学や農学に至る幅広い参加者が活発な議論や交流を行う大変に素晴らしい学会となりました。

本年は、5 月に東京大学大学院の小松徹先生を世話人として第 75 回日本電気泳動学会シンポジウム「電気泳動、温故知新（仮）」がアクセスのよい東京都内において開催される予定です。また、学術大会は愛媛大学大学院の島崎洋次先生を大会長として 10 月 25-26 日に愛媛大学で開催されます。テーマは「電気泳動技術を基盤とする科学技術での持続可能な未来の創製（仮）」です。土日の開催となりますので臨床の先生方も参加しやすいのではないかと存じます。ぜひご予約の確保をお願い申し上げます。

また、本学会は昨年、臨床検査関連委員会を発足させました。臨床検査における電気泳動の重要性が再認識され検査技師の皆様の新規入会が増加しています。ご期待にそえるように本学会の伝統を引き継ぎながら、ますます魅力ある学会へと発展させるべく精進してまいる所存です。この学会メール通信も事務局からの発信だけでなく会員の皆様のご意見やご寄稿も掲載していきたいと存じます。ご投稿は事務局（secretariat@jes1950.jp）までお寄せください。

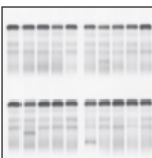
本年も、皆様のご支援をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

日本電気泳動学会
会長 亀山 昭彦

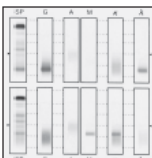


**蛋白分画・アイソザイムはもちろん
免疫固定法(IFE)も全自動処理！**

多発性骨髄腫のフォローアップとして推奨されている
蛋白分画および免疫固定法を全自動で行う事ができ、
しかも従来に比べコンパクト・低価格を実現しました。



血清蛋白分画



免疫固定法 (IFE)

測定項目

蛋白分画
IFE(免疫固定法)
LDアイソザイム
ALPアイソザイム
(骨型ALP含む)
CKアイソザイム
AMYアイソザイム
コレトリコンボ
リボ蛋白分画

多項目全自動電気泳動分析装置
エパライザ2 ジュニア

本社 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-21-19
☎048-833-3208 📠048-833-3273 株式会社ヘレナ研究所

日本電気泳動学会企業会員

- | | | |
|---------------|----------------|------------------------|
| アドバンテック東洋 (株) | コスモ・バイオ (株) | ナカライテスク (株) |
| (株) ナード研究所 | 日本エイドー (株) | バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株) |
| (株) ヘレナ研究所 | 富士フイルム和光純薬 (株) | (株)クリムゾン インタラクティブ ジャパン |

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。
【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。
ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。
【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局 (secretariat@jes1950.jp)
宛にお願いいたします。